

1996

12月号



333

広報

かわち

KOHO
KAWACHI



冬の風物詩

レンコンは、おせち料理に欠かせない野菜です。レンコンを縁起物とするのは、根にある穴のために、この穴を見通しがきくことに例えるからです。来るべき年は、見通しのよい年でいたいものです。



対話のある まちづくり

住みよい河内町をつくるためには、行政サイドの考えだけでは限りがあるため、地域の皆さんの意見やアイデアが必要です。

昨年につきまして、十一月五日から二十一日にかけて地域懇談会が、町長、収入役、教育長以下各課の課長が出席して、公民館の分館を一つの単位として町内の七会場で行われました。

皆さんから出された質問や要望、意見などの中から、これからのまちづくりに関するものをお知らせします。

Q、食味計の活用の方法と 茨城フェアの反響について

A、今年の新米を測定したところ、河内のコシヒカリの最高点は九十二点で、八十点前後が河内の米の平均値です。米の値段が一番高い新潟県・魚沼産のコシヒカリよりも、全体的に勝っています。

その魚沼産のコシヒカリは、三

万円から四万円で売られています。そこで、河内の米をもっと高く売ろうということで、河内の独自のパッケージを作りました。中に入るコシヒカリは、七十五点以上のものとし、銘柄米としてどんどん売り込もうと、これから東京駅でのイベントを企画しています。

同じ河内のコシヒカリといっても、地区によっても異なります。そこで、区長さんをお願いして各

地区で測りたい方を募りまして、町全体でおいしい米を作っている、それを高く売ろうと考える、町おこしをしていきたいと思っています。

また、九月の下旬に茨城の物産展が銀座・三越で開催されましたが、そこで河内のコシヒカリを無料配布しました。その結果、一、

◀食味計は米の「おいしさ」を数字で表示



三日後にその主婦の方がみえて「河内の米はおいしい」という言葉をいただきました。好評を得ました。

Q、下水道の進行状況と分担金について

A、現在、生板の新利根川の南側の地区（砂場、早井、丸田、四ツ家）は本管を完備しまして、今東側に向かって（三ツ家、小巻、堤）工事を進めています。来年は、広田、中曽根地区と県道にそって進んでいきます。計画的には、あと四年で源清田が完備になります。

今の進行状況でいきますと、その後、長竿でも五年程度かかりますので金江津まで来るのに十年、金江津地区が終わるのに八年の計画です。また、これを利用していくための人口も必要ですので、そういうったものも考えながら進めていきたいと思っています。

下水道の分担金については、上水道と違って加入金というものはありませんが、宅地の面積に対して一㎡当たり五百五十円（供用開始になっている第二分区）いただいております。千㎡を越えた分については猶予されます。

▼混雑する朝の長豊橋



Q、魅力あるまちづくりの具体的な計画について

A、一番大事なことのうち、ゴミ処理場の問題がありました。これまでは、利根町といっしょに処理場を建設する計画でしたが、暗礁に乗り上げていました。

そこで、龍ヶ崎市と市町村で広域行政を組んで処理場を建設、平成十二年度の稼働に向けて実施計画が出来ています。これで、ゴミの問題はひとつクリアできたろうと思います。

河内町は、国際空港の対岸十四キロに位置しています。そんな中、茨城の玄関口である四〇八号線の長豊橋の混雑が、あのような状

況では茨城の発展はない。国際空港に行く茨城の玄関口の長豊橋は、少なくとも二車線の橋に架け替えていただきたいと、折にふれて県知事に要望しています。運輸省や空港公団にも、長豊橋は北の玄関口なので架け替えが必要だと話しています。

また、河内には二つの川が流れています。新利根川の汚れは霞ヶ浦の汚れにもつながっていきますので、四万十川方式で浄化をするための迂回路をつくって、水をきれいにしていけたらと考えています。また、町には観光協会といったものはありません。ですから、そういったものをつくりまして、観光農園あるいは利根川を利用した、いろいろなものを考えています。

対話のあるまちづくり

Q、町内の各施設に行くのに交通機関が不便です。バスの増便について検討を。また、通学バスの確保は

A、町の中を走っている関東鉄道バスは、赤字路線なわけです。今まで十三間戸まで行っていたバスが、中金江津までになってしまい、その路線も廃止になるところでした。しかし、この路線は、通学路線ですから関東鉄道さんと協議しまして、町としても補助金を出して確保しました。

ほかの路線については、河内ば

かりではありませんが、営業的にだいぶ苦慮しているようです。通学路線の場合は、いろいろ確保しなければならぬこともあります。

また、利根町が運行している、福祉センターまで巡回しているバスの方法もあります。ですが、これをバス会社にお願すると、年間八百万円から一千万円かかります。ですから、今の人口や利用度数から考えると、ちょっと厳しいと思います。ですから今後は、各地区に保健婦をきめ細かく派遣したり、健康診断も各地域に向い

てやっていきたいと考えています。

Q、中学校の統合計画について

A、中学校の場合、適切な教育環境というのは五百人から七百人だと言われています。ですから統合して運動場にしても陸上競技場、サッカー場、野球場といった施設の整ったところで勉強させてあげたいところですが、両中学校とも体育館を新たに建設してしまったところですので、難しいのが現状です。

今後は、人口増を図りながら子どもたちの数を増やして、二つの中学校の生徒数が、それぞれ四百人くらいの規模になり、適切な学校運営ができるような町づくりをしていかなければならないと考えています。

Q、町営住宅の建設について

A、町の中で、公共施設の跡地の利用を考えています。生板の診療所跡に、一戸建てのものでなく、三階建ての2LDKぐらいものを考えています。今の若い人は、それの方がいいんじゃないかと思

います。
今年度は診療所を解体して、来年度の予算で県と協議しながら建

設計画を進めていきたいと考えています。金江津の支所跡地とかいろいろ検討して、将来は百組から二百組ぐらい入れるようなものになりたいと思います。

Q、運動公園建設の状況は



▶ 一期工事が終了している公園

A、長竿バイパス沿いにある、ふれあい公園の二期工事として、これまでの計画を中止して、運動公園として整備します。

計画では野球場が二面とれて、サッカーも出来る広さにします。今年度用地買収をして、来年度から実施します。

募集します 田沼基金奨学生

家庭の経済的な理由から高校への進学が困難な子弟を対象に、学費の一部を援助し、優秀な人材の育成を図ることを目的とした「田沼多喜男生涯学習等基金奨学生」を、次のとおり募集します。

■対象者 申請者及びその扶養義務者などが、1年以上（基準日：4月1日）引き続いて町内に居住していて、高校進学を希望しているが経済的に困難な方で、かつ、在学する中学校長の推薦を受けた方。

■給付予定人員 3人

■給付額 月額 15,000
（特別奨学金70,000円、ただし、第1学年のみ）

■給付期間 高校を卒業するまで

■受付期間 9年1月7日から
24日まで

■決定及び通知 決定の結果については、中学校長に通知

■問合せ・申請先 河内中学校、
金江津中学校、または教育委員会まで ☎84-3322



▲直売所は408号線沿いに建設を予定

Q、今後の商工業の見通し
や特産物の販売について

A、成田から筑波研究学園都市間の四〇八号線には、トイレ休

憩する所がありません。そこで、第三セクター方式で直売所をつくらうという構想を持っています。

そこでコシヒカリを販売するわけですが、河内には納豆屋さん、みそ屋さん、まんじゅう屋さんもあります。これに全部「河内」のブランドを付けていただいで売っていかうと考えています。

これまでは、企業を誘致する、工業団地を造るといっても受け皿がありませんでした。用地を買収したり、先行取得するには土地開発公社がないとだめなんです。そういうように、一つ一つ受け皿をつくっていくために、役場の機構も改革しましたし、土地開発公社設立のめども立ちましたので、前向きに検討したいと思っています。

Q、米を作る際のコスト
削減について

A、農地の流動化を促進して、規模拡大農家を育成するということが、先祖代々の土地を持っていた人という傾向にあります。また、借り手農家も、米の値段が安くないと借り賃を支払うのも難しい、そういうことで、流動化が進まないのが現状です。

農業だけは、後向きでやっていったら止めるしかないと思います。これからの努力しだいですけれど、魚沼産のコシヒカリみたいに売れるようになれば、やる人も増えてくるんじゃないかと思っています。

すから、町で一番生産高のある米をいかに高く売るかを考えていこうと思います。

Q、町としての行政改革の状況は

A、現状の中で、機能的に大きくしようと、四月に機構改革をしました。例えば、福祉と保健を一つにして、福祉課を新設しました。きめ細かく集落内に保健婦を派遣して健康管理などを行い、老人保健と老人福祉を行うためです。

また、都市計画課は、土地開発をする場合には必要な受け皿なんです。河内町も、これから二万人、三万人を超える町にしないとパランスがとれなくなってしまう。少なくとも、十年後には二万人にしないと。そういう意味で、より機能的にしました。

そのほか、要望の多かった道路の補修や防犯灯の取付けなどは、現地を確認して必要度の高い順に検討いたします。また、信号機の設置や県道、国道に関する事項については、それぞれを管轄している機関に要望します。

まやにおとぎの国

太陽に向かって飛ぶこと十二時間、沈まない太陽は私に三十一時間の一日を与えてくれた。眼下に広がるオランダの大地は黄金色に輝き、まさにおとぎの国そのものだった。

赤いレンガ、三角の屋根、白い窓枠、レースのカーテン、色とりどりの庭、地平線のかなたまで真っすぐに延びた道、両側に広がる牧場にはヤギや牛が草

を食む。「ついにオランダに来たのだ」という感動と興奮で、何を見てもついシャッターを切ってしまう。

ヨーロッパは雨季に入っていて、一日に何度も雨が降る。しかし、日本の梅雨のようにじとじとした感じはなく、サッと降ってはすぐ薄日が差す。雨粒が小さく感じたのは、私が旅人だからだろうか。

首都アムステルダムは、アムステル川にダムを造り干拓してできた街で、その九十パーセン

ト以上が市の所有地だ。畑や牧草も川によって長方形に仕切られていて、水面が道路よりも高い所が半分もある。川は現在も交通の手段として利用され、あちこちで跳ね橋を見る。船が通ると、電動で上がる仕組みになっている。

オランダの歴史は干拓と洪水、水との戦いと共存の繰り返しだったのだろう。そして、オランダ人がつくったたくましい緑の大地に、心やさしい人々がいた。

陽気で楽しい一家

私たちがホームステイでお世話になったのは、アムステルダムの北にあるフォーレンダムという町のデッカーさん一家。フォーレンダムは昔、漁業の町だったが干拓によって海水は淡水に変わり、現在は観光の町に様変わりした。漁業はウナギなどの養殖が残るだけになってしまったそうだ。

巨大な岩盤の壁

平坦なオランダから、一転して山あいのノルウェーへ。オスロの山々は紅葉が始まっていた。明日は、たっぷり一日かけてフィヨルドの見学である。フィヨルドというとアラスカの氷河や北

私のオランダ・ノルウェー紀行

― 諸岡峰子

水のオランダから、フィヨルドのノルウェーへ。

どちらの国の人々も自然とともに生活し、自然を家族の一員のように考えている。

自然とともに生きている人々

極を想像するようだが、この時期のノルウェーは思ったほど寒くはなかった。

フィヨルドとは、何万年も地表が巨大な氷で覆われていた時代、雪が雪の重みで滑り落ち、その時、岩を削りとってできた深く入り組んだ地形である。こういうと、リアス式の三陸海岸を思い浮かべるかも知れないが、私たちが見たのは、巨大な岩盤の壁だった。そして、フィヨルドはずうっと内陸まで、深く入り込んでいた。

乗船場のあるグッドバンケルまでは、バスで向かった。車窓から見る風景は、スイスを思わせるような牧場に羊が戯れていた。だんだん深くなる山々からは幾つもの滝が流れ落ち、また、針葉樹の木々の中に広葉樹が黄色に色づいて、とてもきれいだった。

いよいよ、フィヨルドの遊覧である。目前に迫る岩盤は、縦も横もワイドサイズの写真にも入りきれないほどのスケールで、岩の間には紅葉した木々があり、山の上は雪に覆われている。こういう風景が、二時間も続く。本当に山の中という感じだが、船の下の水は紛れもなく海水で

ある。その証拠に船の周りには、カモメがパンを貰いに集まってきた。

自然の雄大さと厳しさ

次は、急勾配の山岳鉄道だ。

この鉄道は、約五十分で八百六十五メートルも登って行く。気圧の関係で木々はだんだん低くなっていき、紅葉の色も鮮やかになってくる。ミュールダールで乗り換えオスロまで五時間、途中、海拔千二百二十一メートル



諸岡さんは、茨城県の女性海外派遣事業「ウィメンズ・ミッション」に参加し、9月25日から10月6日までの12日間、オランダ、ノルウェー、フランスの3カ国を視察研修してきました。

ルの鉄道最高地点フィンセを通過する。

フィンセには木はなく、草だけで尾瀬の湿地帯のようだ。フィンセを越え、ウスタオールを過ぎると、後は森林の中を走るだけである。スビルバークの映画「スターウォーズ」の撮影現場はこの辺りだそうだが、残念ながら森は闇の中であり、私も夢の中だった。

ノルウェーの自然の雄大さは、そのまま自然の厳しさに通じるのだろう。あれほど海拔の高い所にも人が生活していて、街がある。岩盤の下のみならず土地にも家があり、羊を飼っている。ノルウェーの人々もまた、自然と戦い、自然とともに生きている。ベンゲルの小学校を視察したとき、授業のテーマの第一番目が環境だった。ノルウェーの人々が自然を大切に考え、そして自然保護に取り組む姿勢に感動した。



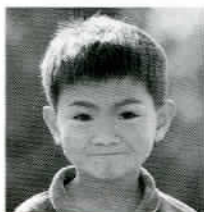
ぼくの わたしの

夢

[金江津保育所]



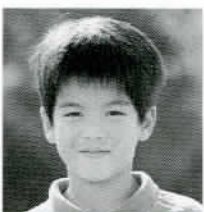
はっとり ゆうすけ
服部 裕介くん
お店屋さん



たかはし まこと
高橋 亮くん
おもちゃ屋さん



あさの ひろかず
浅野 宏和くん
お店屋さん



さかい だいすけ
酒井 大輔くん
お菓子屋さん



おのの しひと
大野 史人くん
工事する人



さとう つばさ
佐藤 翼くん
ペット屋さん



さかい じゅり
酒井 樹理ちゃん
お医者さん



あおの いくみ
青野 郁美ちゃん
歯医者さん



こまつか もみ
駒塚 萌美ちゃん
お花屋さん



いしばし のりこ
石橋 紀子ちゃん
パーマ屋さん



あきやま ようこ
秋山 陽子ちゃん
お花屋さん



うづき なおえ
卯月 尚恵ちゃん
お人形屋さん



くりやま かつなり
栗山 克成くん
プラモデル屋さん



いとう たかふみ
伊藤 貴文くん
ミニ四駆屋さん



かきぬま みほ
垣沼 美穂ちゃん
看護婦さん



いとう あさひ
伊藤 亜樹ちゃん
レストラン屋さん

税に関する中学生の標語 入選作品紹介

このほど行われた、中学生の税に関する標語募集において入選した作品を紹介します。(敬称略)

◎竜ヶ崎税務署長賞

税金はぼくらの未来の道しるべ

鈴木 孝徳 (河内中学校二年)

税金はあなたのくらしの第一歩

沼崎 久美子 (河内中学校二年)

税金で住みよい暮らしありがとう

岩橋 史明 (金江津中学校二年)

◎河内町長賞

納税は国に役立つすてきな貯金

青野 友香 (金江津中学校一年)

税金は未来をはぐくむ愛の水

武井 真理子 (河内中学校二年)

税金は日本を色どる花の種

横山 大介 (河内中学校二年)

つくろうよ税を役立て夢の街

遠藤 香世子 (金江津中学校二年)

消費税すみよい社会に明るい街へ

蓮沼 梢 (河内中学校三年)

河内中学校では

古い写真や資料を探しています

河内中学校は、平成十年五月に創立四十周年を迎えます。そこで、古い写真など中学校の歴史の分かる資料を探しています。お持ちの方はご連絡ください。☎8412355

東野英心さん

今の時代は伝えることは多いが、そのための時間は少ない。ですから、大人はつい「ちゃんと人の話を聞いていないからだ」としかってしまふ。こういうことが二度三度と重なっていくと、子どもとの間に溝をつくってしまうこともあるわけだ。

昔話の「桃太郎」には、犬と猿とキジが登場します。これは、それぞれ心と知恵と勇気を表しています。子どもたちがこれから生きていく過程で、自分自身や何らかの敵と戦わなければならない。そういうときにただ闇雲に戦うのではなく、人間社会の平和のために



俳優。NHK「中学生日記」の東先生役として活躍。文化講演会のため来町、東京都出身。

大人の言葉と 子どもたちの心

は心と知恵と勇気をもって戦ってください。それが私たちの幸せにつながっていくのですよと、そういうことを伝えたいためにこの話は出来上がったんです。

しかし、語り継がれているうちに、この大切な部分が置き去りにされてしまった。そして、大人はこういう大切な部分を忘れておきながら、次の世代の子どもたちをどんどん言葉で攻めている。

また、周りには素晴らしい環境がありながら、子どもたちを狭い人間社会の中に閉じ込めて横目で監視している。そして少しでも冒險しようとすると、余計なことをするなどと引き止めてしまう。

子どもたちが余計なこと、危ないことをしていても、それを見守っていてやると、ここは違う次はこうしようと、自分で自分の道を見つけて出す。自分の道を見つけ出した子どもは、「やったー」と感動を体験する。それを余計なこと、危ないからと止めてしまうと、感動を知らない子どもになってしまふ。無気力で無感動な子どもは、大人がつくってしまう。それは私たち大人の側に、ずいぶんと責任があるのではないだろうか、そんなふうに思います。

はいく

かわち俳句会

一筋の川をはさんで末枯野
巡り来て重ねる齡文化の日
残り香で作る楽しみ菊枕
老いの道そぞろ歩きの秋淋し
お互いに生きがいもちて文化の日
円やかに過ぐす幸せ文化の日
枯れはすの茎それぞれにひそむ風
菊作り花にたくして文化祭
追憶や軒なみ旗の明治節
穴惑い惑うはくちなわのみならず
減らず口似合う翁の文化の日
木星に水あると云ふ文化の日
老いとなり平和を祈り文化の日
あざやかに富士影見せる秋の夕
張り替える障子灯るや秋の暮れ
はめ言葉五分に流して文化祭
文化祭選に入るか此の一句
館出て野っ原の道秋の暮れ
山茶花や散り急ぎたる色を掃く



鴻野 三郎
篠本 しげる
神崎 迪太郎
津根 としお
鴻野 たけ
吉田 四郎
山本 かつ
四月朔日 四郎
平川 和楓
岡田 みつ
田中 白茅
鈴木 桐葉
本橋 澄江
田口 庄司
田沼 和子
大森 つや
沼崎 まさ子
大塚 一重
石井 一江



1本の綱に闘魂込めて

優勝

- ・小学生男子
がきんちょB (生小)
- ・小学生女子
ビューティーA (生小)
- ・一般男子
第1分館
- ・一般女子
第1分館

12月1日、農業者トレーニングセンターを会場に、恒例となった綱引き大会が行われた。小学生チームや各分館チームなど29チームが参加して行われた今年の大会、密かに練習を重ねていたり、ぶっつけ本番で試合に臨んだりとチーム事情は様々。

各チームとも1本の綱に気合を込めて、闘志むき出しの熱戦が繰り広げられた。



古墳を訪ねて『歩け歩け』

十月二十七日に行われた歩け歩け会には、ちびっ子たちを中心に約百人が参加。今回は、房総風土記の丘を中心とした「古墳を訪ねるみち」で行われた。

当日は天気にも恵まれ、参加者たちは秋のさわやかな日差しを受けて、約八キロの道のりを歩きとおした。



見事に咲いた菊の大輪

金江津小学校の六年生が、この秋、菊の大輪を咲かせ近所の皆さんの目を楽しませた。これは、近くに住む鈴木三郎さん(九十歳)の指導を受けてのもので、鈴木さんは春の土作りから熱心に指導。六年生も、夏休みの水掛けを当番を決めて行うなど、熱心に取り組んで咲かせたもの。

ズーム
アップ。

戸籍の窓

11月届出分(敬称略)

おめでた

赤ちゃん	保護者	地区
悠 ゆう 稀 き	小川 敏明	北丸田
徹 ととる	真仲 静男	浄玄
安 あ 鐘 かね	土師 正行	生鍋
菜 な 桜 お	吉野 克巳	浄玄
木 こ 乃 の 実 み	安藤 義樹	宿

おくやみ

氏名	年齢	地区
齋藤 勇	75	生鍋
宮本 茂	71	早井
橋本 達夫	79	入谷
根本 てる	68	田川
仲山 ちか	75	小巻
山本 護	82	手栗
山田 キク	91	小巻
沼崎 倉丈	59	片巻



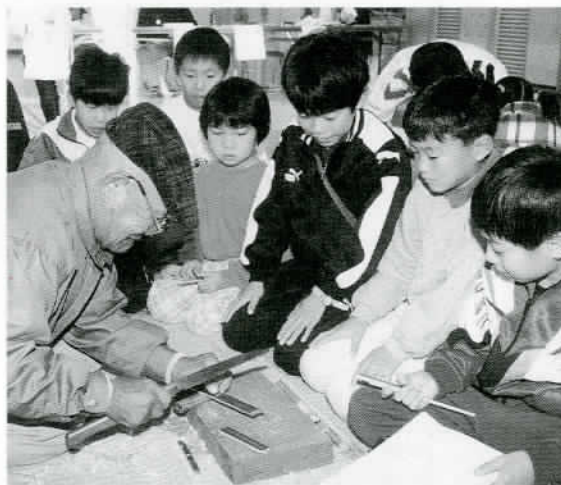
平和への決意も新たに

河内町戦没者追悼式



河内町戦没者追悼式が十一月二十一日、遺族や関係者約二百八十人が参列して農村環境改善センターで行われた。戦争そのものの風化が指摘されている昨今ですが、参列

者は当時を思い、悲しみを新たにするとともに、多くの英霊の尊い犠牲の上に築かれた現在の平和の恒久を祈念し、郷土河内のますますの発展を誓った。



おじいちゃん遊びの天才 子どもまつり行われる

おじいちゃんの作る竹トンボに、子どもたちはびっくりしたり喜んだり。十一月二十三日、長竿小学校を会場に約五百人が参加して、子どもまつりが行われた。

当日、「主役」の子どもたちは、「きね」と「うす」でついたおもちをこちそうになったりと、催し物が盛りだくさん。中でも、子どもたちは、長寿クラブのおじいちゃんらに教わりながら、自分で作った竹トンボに大満足。

県民スポーツレクリエーション祭牛久ブロック

11月10日開催

☆12種目中7種目に参加

優勝

ゲートボール

準優勝

男女混合バレー

教育長に青山準一氏就任

このほど、眞仲守氏の任期満了にともない、十一月二十五日付けで新しい教育長に青山準一氏が就任されました。

就任のごあいさつ



教育長就任にあたり、一言
ごあいさつ申し上げます。

年度途中ではありますが、
去る十一月五日に町議会にお
いて教育委員として同意をい
ただき、十一月二十二日、河
内中学校を退職いたしました。
そして、十一月二十五日、教
育委員会において第八代教育
長に推挙されました。浅学非
才ではございますが、河内町
発展のため教育行政に努力い
たします。

さて、現在の社会をみます
と、車から空き缶を捨てたり、
自然をゴミで汚すなど、公德
心を失い、自然をないがしろ

にする残念な行為などがあり
ます。また、思いやりや我慢
の心も失いつつあります。こ
れからは学校、家庭、地域の
教育の中で、しつけや徳育に
ついて見直していきたいと考
えています。

なお、子どもたちが二十一
世紀を幸せな活力あふれた時
代にするためには、子どもた
ち自身が自ら考え、学び、判
断行動できる力、及び自らを
律し、思いやりや協調性そし
て感動する心、豊かな人間性
とたくましい心と体などを、
生きる力として育ててやるこ
とが必要です。河内町教育委
員会としては皆様のご協力を
いただきながら、生涯教育、
学校教育の一層の充実を図っ
ていきます。そして、教育環
境についても、町長部局のご
理解をいただきながら改善し
ていきたいと思っています。



消防団員募集中！

河内町消防団では、平成九
年度の新入団員を募集してい
ます。火災や災害から地域住
民の生命、財産を守るため、
若い皆さんの入団をお待ちし
ています。
詳しくは各分団役員、また
は総務課までお問い合わせく
ださい。

生徒募集

竜ヶ崎第一高等学校定時制

成人特例入学者選抜

竜ヶ崎第一高等学校では、
学習意欲あふれる成人の方に
こたえるため、成人特例入学
の制度を設けています。

応募資格

県内に居住、勤務し中学校

竜ヶ崎第一高等学校

☎6212146

等を卒業した二十歳以上の者
願書受付期間
二月三日～五日
問合せ先

犯罪捜査活動にご協力を

「事件かな？」と思ったら迷わず110番

11月

町長の動き

- 1日(金)水道運営審議会研修(12日)
- 3日(日)輝いて河内いきいき祭
- 4日(月)郡消防操法大会
- 5日(火)臨時議会、竜ヶ崎地方衛生組合管理者会議、地域懇談会
- 6日(水)庁議、入札、小学校球技大会
- 7日(木)明日の茨城を考えるつどい
- 8日(金)ヨーロッパ視察研修反省会
- 9日(土)地域懇談会
- 10日(日)地域懇談会
- 11日(月)関東鉄道との打合せ、遺族会関係団体との懇談会
- 12日(火)稲敷広域管理者会議、竜ヶ崎地方衛生組合臨時議会
- 15日(金)町史編さん委員会、東京電力来庁、歴史講演会、地域懇談会
- 16日(土)地域懇談会
- 17日(日)秋季テニス大会、PTA指導者研修会、つづみ会館運営審議会研修(18日)
- 18日(月)地域懇談会
- 19日(火)郡議員大会
- 20日(水)結婚相談員情報交換会
- 21日(木)戦没者追悼式、竜ヶ崎地方塵芥処理組合全員協議会、地域懇談会
- 23日(土)子どもまつり、生板スポーツ少年団野球・バレーボール大会
- 24日(日)桜川村合併40周年記念式典、藤蔵集会所竣工式
- 25日(月)教育委員任命式、構造政策推進会議、総合開発審議会
- 26日(火)郡老人クラブ連合会老人福祉大会、区長会役員会、稲敷広域組合議会
- 27日(水)寿人生大学、商工会青年部来庁、全国町村長大会
- 28日(木)東京医大病院長来庁、竜ヶ崎地方塵芥処理組合全員協議会、組合議会
- 29日(金)レディースゴルフ教室
- 30日(土)小・中学校音楽会

町の歴史 あれこれ ㉓

—町史編さん囑託員 鈴木 久—

金江津用水と 福田市郎兵衛

片腕切られても市郎兵衛訴え

社会科副読本『かわち』に紹介されている、金江津用水開削を片腕を切られながら代官に訴え続けた福田市郎兵衛は「生板の三義人」とならんで忘れてならない人物です。

この話のものは「金江津の労作体験の教育」として全国に知られた黒田正校長の著作『魂の全村教育経営』（昭和十四年発行）に収録された郷土史研究作文「我が村の恩人」と思われます。

享保十一年（一七二六）、小笠原上総介の代官の舟に福

田市郎兵衛が「金江津村、百姓の死活に拘はる一大事で」と用水の件を訴え出たところ、「無礼者」と舁（みなり）にかけられた右手の五本の指を切り落とされたが、なお訴え続け、ついに願いが聞き届けられたという話です。この市郎兵衛は四代目で元禄二年の生れの四十一歳となっています。

事実の資料的裏付け

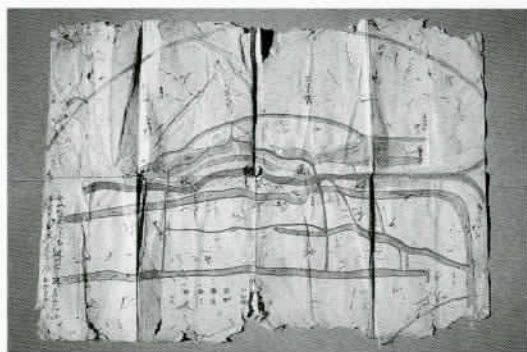
私たちはこのような先人の偉業を正しく顕彰しなければなりません。ところがこの話には若干辻褄（つじぎま）の合わないところがあるので正しておく必要があります。

享保十一年に用水開削を小笠原上総介の代官に願ひ出たということですが、これはどうやら金江津尋常高等小学校明治四十二年編『郷土誌』や『稲敷郡誌』の記述に合わせたと思われませんが、事実と相違しています。

『稲敷郡郷土史』には「宝永四年（一七〇七）三月名主青野善兵衛、組頭福田勝右衛門及片巻村名主秋山伝右衛門、組頭伊藤五右衛門時の代官に歎願し村人一致協力万難を排し柴崎村水門より道心橋を経

て五衛橋より片巻村を貫通し金江津村喜左衛門道より新道、木刈道、横手より平川新道迄実に三里二十四町三十一間の用水堀掘削工事を完成したり」とあります。これも先の『郷土誌』に基づいているようですが、その史料は、用水堀が長竿村の協力を得て地内を通じたことから堀敷・土揚場で多くの潰れ地ができた長竿村に負担をかけたので、年貢からその分を控除して貰いたいと、長竿村支配の代官に片巻・金江津両村役人連名で願ひ出たものです。これを開削願ひと

◀片巻の篠田克弥家所蔵、安政三年（一八五六）の村絵図



するのは読み違いで、用水完成に関連する史料ということになります。

代官細田伊左衛門に願

では、事実はどうだったのでしょうか。さいわい福田三郎家文書の『福田私記原本』『元和元始年代記』『寛保三年五月片巻・金江津両村用水出入写』（用水に関する訴訟）に金江津用水関係の記載があり、それを総合すると事実関係は次のようになります。

片巻・金江津両村は以前は豊田用水を利用していました。ところが用水組合の義務をは

◀片巻集落北側を流れる堀



たすには、遠路で負担が重く難儀だということで、組合をぬけたのですが、地高のところ故干ばつに苦しむことになり、元禄十五年（一七〇二）から

宝永四年（一七〇七）まで幕府代官であった細田伊左衛門に願ひ出て柴崎水門から用水堀を掘ることになったのです。その当時の名主役は、市郎兵衛、勝右衛門、善兵衛三人が年番で勤めており、福田家の文書では、市郎兵衛（三代目と思われる）を二代目伝三郎（通称利右衛門）が助けて決断したとなっています。

今もたどれる金江津用水跡

用水が初めて通ったのは宝永四年で、代官細田は深くこれを喜んだと記されています。翌五年（一七〇八）片巻・金江津の用水路に悪水伏越樋二か所と用水掛渡樋一か所を新設し金江津用水は完成をみました。命がけて用水開削に取り組んだ先人の労苦を偲ぶにはまだまだ史料の発掘が必要のようですが、用水の跡は柴崎堰から長竿地内を経て片巻集落の北側、金江津とはつきりたどることができます。

福祉

乳幼児医療福祉費

制度が拡大されます

乳幼児の成長や発達に影響を与える疾病の早期発見、早期治療を図るため、これまで0歳児の入院・外来と1、2歳児の入院について、保険対象分が無料だった乳幼児医療福祉費制度の適用範囲が拡大されます。拡大された制度では、1、2歳児の外来も保険対象分が無料になり、平成9年1月から適用されます。

保護者などの所得により該当にならない場合もありますが、該当している方にはすでに通知を差し上げています。手続きをしていない方は、早目に手続きをしてください。

問合せ先 住民課

金江津保育所の受付日が

変更になります

平成9年度に保育所に入所を希望する児童の募集については、先月号でお知らせしましたが、金江津保育所の受け付け及び面接日が変更になります。

変更前 1月10日・14日の両日

変更後 1月10日の1日のみ

時間は、午前9時から午後4時30分までです。

問合せ先 民生課

社会福祉協議会の事務所は

福祉センター内です

西共同利用施設内に事務所のあった社会福祉協議会は、福祉センターに移転しました。また、「結婚相談所」の事務局は社会福祉協議会にあります。

☎84-2830

休日診療 当番医

◇江戸崎地区 (市外局番0298)

【12月】

22日	古橋医院	0299-78-3770
23日	鈴木クリニック	92-3640
29日	池延医院	87-2070
31日	矢野医院	92-2127

【1月】

1日	津村医院	94-2719
2日	坂本(美)医院	92-2627
3日	大久保医院	94-2733
5日	竹尾医院	86-2436
12日	和田医院	94-2412
15日	本橋(惟)医院	92-2308
19日	宮本病院	0299-79-2114
26日	鴨下医院	92-26191
2日	津村医院	94-2719
9日	矢野医院	92-2127
11日	大久保医院	94-2733

*診療を受ける際は必ず電話で確かめてください。



◇竜ヶ崎地区

*上段が内科、下段が外科です。

【12月】

22日	細井クリニック	66-2000
	牛尾外科	66-6111
23日	兼子内科	64-3105
	五十嵐医院	62-0936
29日	横田医院	62-0047
	斎藤クリニック	64-3527
30日	三石クリニック	62-2234
	みやおかクリニック	62-3761
31日	吉沢胃腸科医院	66-0977
	朝野医院	62-0178

【1月】

1日	根本医院	62-3155
	野村病院	62-6561
2日	山本医院	66-3348
	いしかわクリニック	62-0378
3日	八代内科医院	64-1710
	竜ヶ崎医院	62-0550
5日	若松医院	64-0533
	西新道外科医院	62-0855
12日	山村医院	66-0555
	秋本脳神経外科	64-3311
15日	福岡小児科医院	66-3245
	青木医院	64-3131
19日	横田医院	62-0047
	中村クリニック	64-6655
26日	村井医院	62-3380
	菊地整形外科	64-6111

【2月】

2日	細井クリニック	66-2000
	さくらクリニック	65-1211
9日	三石クリニック	62-2234
	斎藤クリニック	64-3527
11日	吉沢胃腸科医院	66-0977
	みやおかクリニック	62-3761

広報「かわち」1月号は、元日の新聞折り込みによって、みなさんのご家庭に配布いたします。

町の人口と世帯

平成8年12月1日現在	
人口	12,164人(+12)
男	6,004人(+8)
女	6,160人(+4)
世帯数	3,141戸(+9)



12月の納税

- ◇ 固定資産税 3期 ◇
- ◇ 国民年金保険料 9期 ◇
- ◇ 国民健康保険税 5期 ◇

徴収日は、12月25日です。

'97 1月の納税

- ◇ 町県民税 4期 ◇
- ◇ 国民年金保険料 10期 ◇

徴収日は、1月31日です。

年金

第三号被保険者の

届出はお済みですか

第二号被保険者（厚生年金や共済組合の加入者）に扶養されている配偶者を、第三号被保険者といいます。

第三号被保険者は保険料納付の必要はありませんが、届出をして確認を受けなければ第三号被保険

☎ガイド		保健センター ⑧4 4 4 8 6
役 場 ⑧4 2 1 1 1		学校教育課 ⑧4 3 3 2 2
水道課 ⑧4 2 3 6 1		生涯学習課 ⑧4 2 8 4 3 (中央公民館)
つつみ会館 ⑧6 3 7 4 0		給食センター ⑧4 2 8 4 5
		福祉センター ⑧4 3 6 9 9

'97 1月のゴミ収集カレンダー			
資 源 回 収 日		燃えないゴミ収集日	
A地区	7、21	A地区	} 16
B地区	8、22	B地区	
C地区	9、23	C地区	
D地区	14、28	D地区	} 30
E地区	29	E地区	
燃えるゴミの収集日		粗大ゴミの予約収集日	
A地区	毎週月曜日と金曜日	全地区	
B地区		■ 1月中に粗大ゴミの予約を された方は、2月1日に収 集します。	
C地区			
D地区			
E地区			
'97 2月のゴミ収集カレンダー			
資 源 回 収 日		燃えないゴミ収集日	
A地区	4、18	A地区	} 13
B地区	5、19	B地区	
C地区	6、20	C地区	
D地区	25	D地区	} 27
E地区	12、26	E地区	
燃えるゴミの収集日		粗大ゴミの予約収集日	
A地区	毎週月曜日と金曜日	全地区	
B地区		■ 2月中に粗大ゴミの予約を された方は、3月1日に収 集します。	
C地区			
D地区			
E地区			
■問合せ 都市計画課環境衛生係 ☎84-2111 内線155、156			

者として扱われません。届出をしていないと、将来年金が受けられなくなったり、減額されることもありますので、第三号被保険者に該当したときは届出てください。

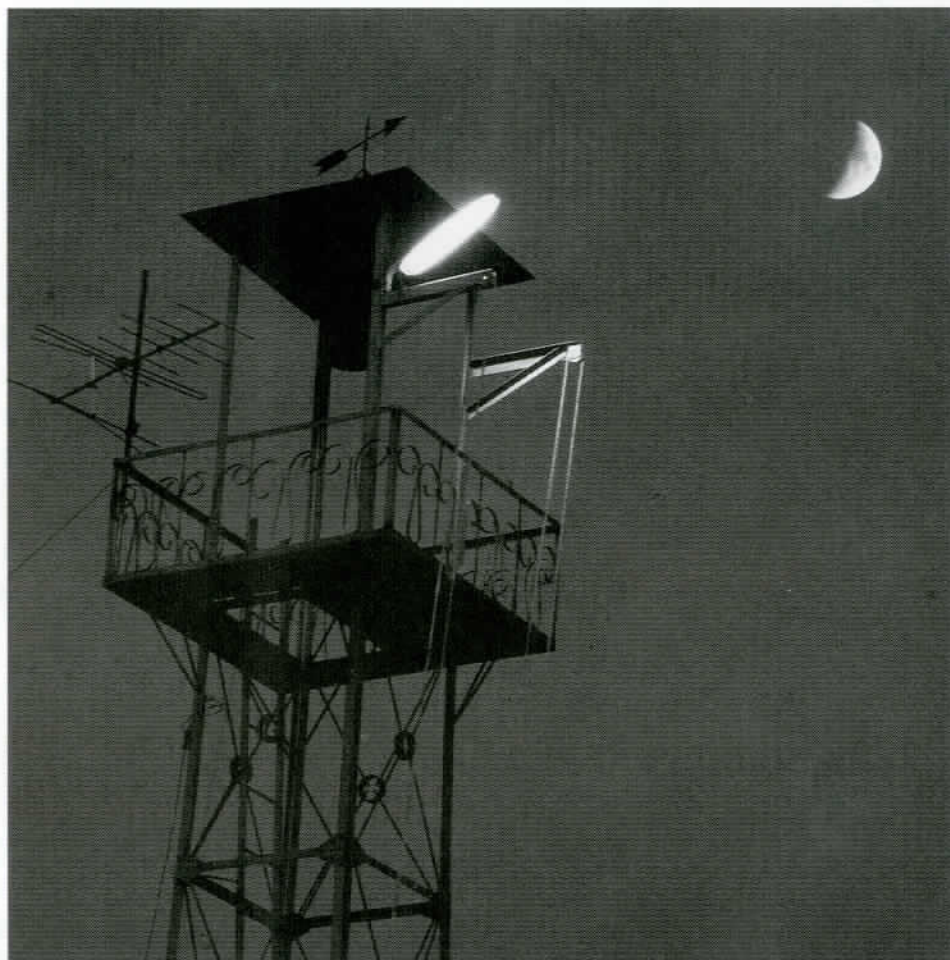
届出が

済んでいない場合は？

第三号被保険者の届出がなされていないかたつと、原則的に2年前までさかのぼって第三号被

保険者の期間と認められ、それより以前の期間は「未届出期間」となっていますが、平成9年3月までの特例届出期間中に届出を行うことによって、昭和61年4月以降の未届出期間が第三号被保険者の期間とされ、将来受け取る年金の額に反映されます。届出を済まされていない方は、必ずこの機会に届出を行ってください。

問合せ先 住民課年金係 内183



郷愁だだよ「火の見櫓」^{やぐら}

自治消防の発達にともない、火の見櫓は本来の役割を終えてしまった。しかし、ふるさを懐かしく思う気持ちと火の見櫓の点在する風景は、どこかでつながっているような気がする。

■平成 8 年12月15日発行 ■編集 河内町秘書広聴課

〒300-13 茨城県稲敷郡河内町源清田1183

☎0297(84)2111